



至誠

勝田第三中学校 学校だより 第16号

令和7年9月8日（月）発行

文責：校長 川上徹行



勝田三中HP

今年度の「全国学力・学習状況調査」結果より

昨日はご多用の中、教育ボランティア（奉仕作業）へのご参加、お世話になりました。保護者と生徒合わせて60名を超える参加がありました。ありがとうございました。

さて年度始めの4月、全国の小学6年、中学3年が一斉に行っている「全国学力・学習状況調査」結果です。夏休みに結果が届き、分析も完了しましたのでお伝えいたします。平均正答率は、経年変化も含めて以下のようになっております。

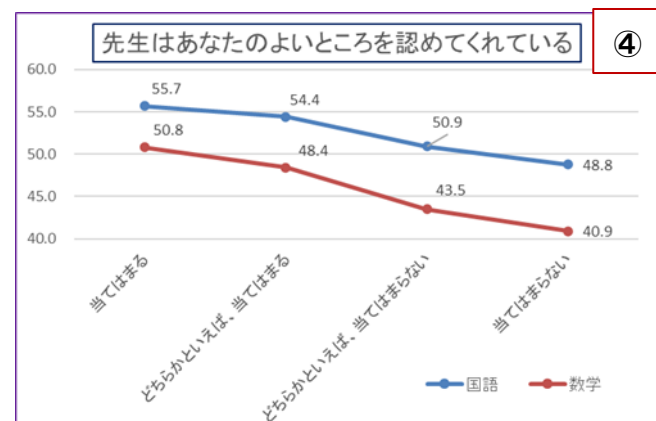
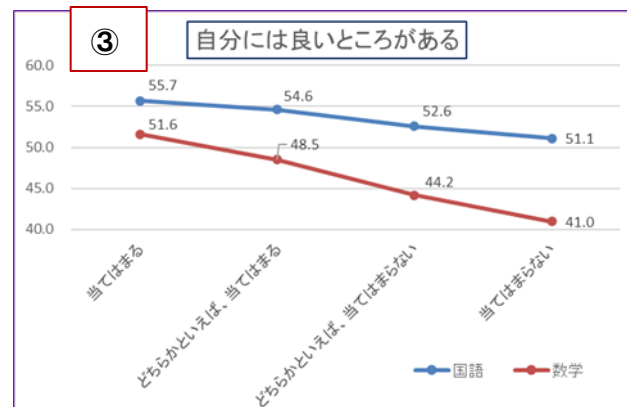
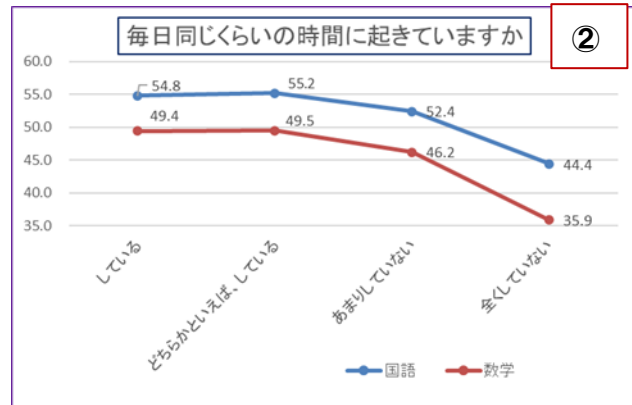
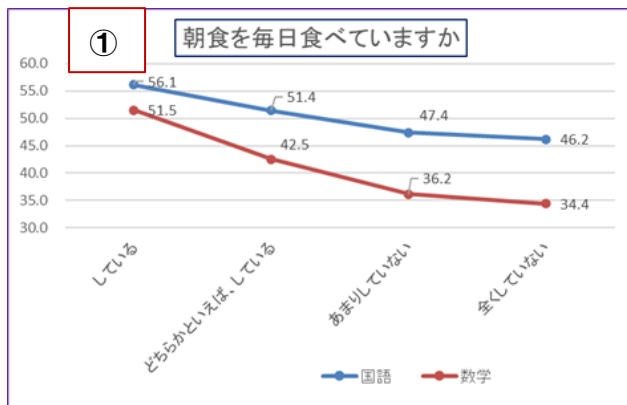


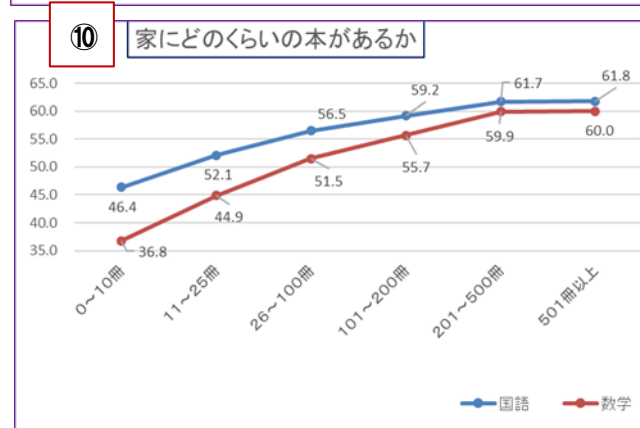
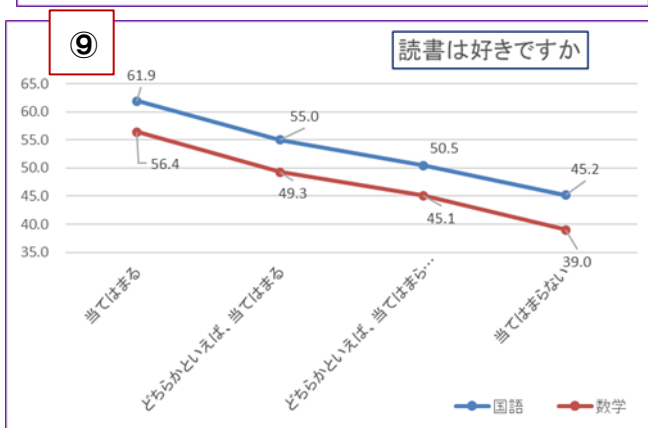
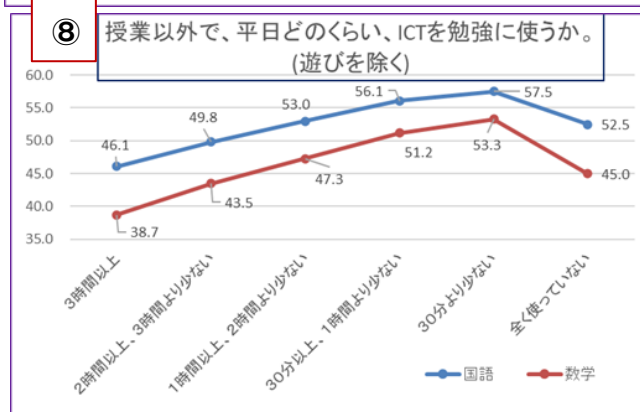
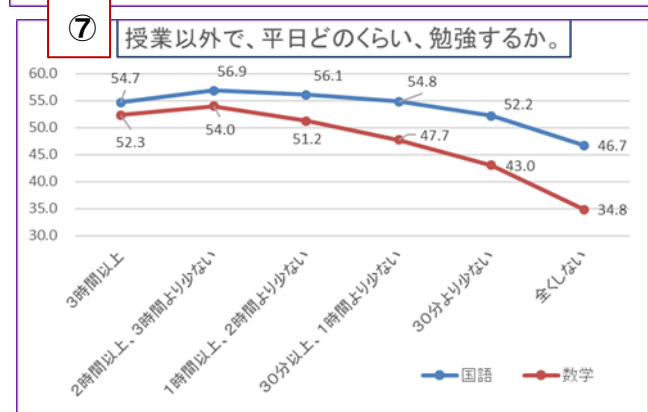
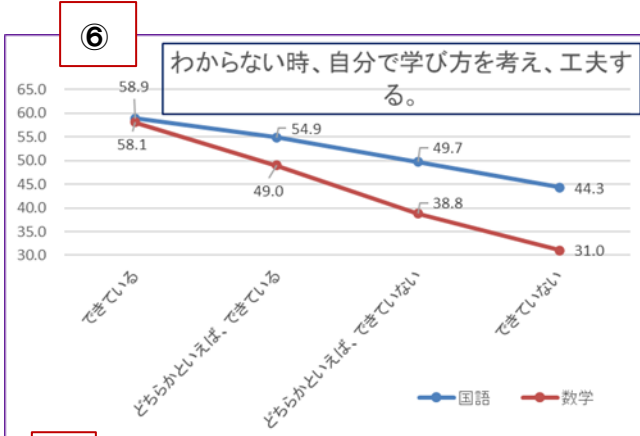
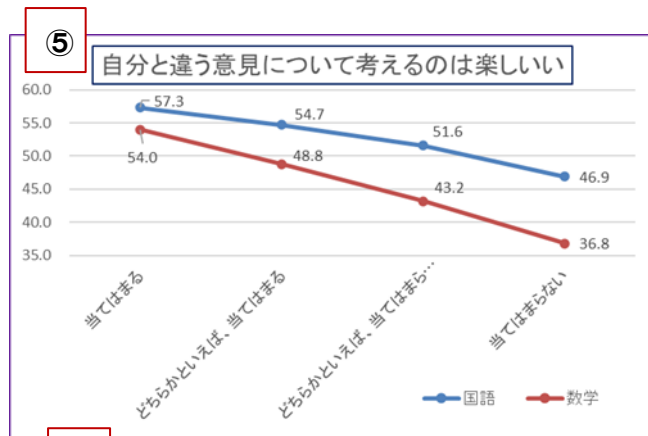
本校の平均正答率	R 5	R 6	R 7
国 語	[全国平均よりやや下回っている]	[全国平均より下回っている]	[全国平均とほぼ同じ]
数 学	[全国平均より上回っている]	[全国平均より下回っている]	[全国平均より下回っている]
英語 (R5) 理科 (R7) ※IRT スコア	[全国平均より下回っている]		[全国平均より下回っている]

※ []内は全国平均との比較

9月の職員研修では、学力調査の分析結果をもとに今後の対策を検討します。国立教育政策研究所が示す授業アイデアなども参考にしながら、「自分の考えをまとめる」「様々な情報を結び付けて考える」「根拠をもとに説明する」といった力を育てる授業改善を進めます。特に、本校の課題である「伝える文章を書く力」「理由や根拠を明確にして説明する力」の育成に力を入れていきます。教師自身も、生徒と同じように学び続ける姿勢を大切にしています。研修で学んだことを積極的に授業に取り入れ、日々の実践を通して授業改善を進めてまいります。

※以下は、生徒質問紙と正答率とのクロス集計結果（全国）です。ご家庭でのお子様の関わり方の参考になれば幸いです。





- ① ②…基本的な生活習慣の中でも、重要なのが食と睡眠です。寝る時刻の質問も同様で、規則正しい生活リズムを確立している生徒の方が、正答率が高いです。
- ③…自己有用感(自分は人の役に立てている)、自己効力感(自分にはできる力があると信じられる)が高い生徒ほど、正答率が高くなっている。
- ④…承認欲求と正答率の相関も認められます。学校では教師が、家では保護者がしっかりと認めてあげることで、次の行動への動機づけを強化することができると考えられます。
- ⑤⑥…学び方として、異なる意見への興味を示す(多様性の尊重につながる)、創意工夫や試行錯誤をよく行う生徒の方が、正答率が高くなっている。
- ⑦…家庭での平日の学習時間ですが、1時間程度の実施(宿題等も含めて)で十分に理解を深められることが裏付けられていると思われます。
- ⑧…昨年度も同様の傾向でしたが、授業以外(家庭学習等)で、どのようにPC・タブレット等を活用していくのが良いかを考えるデータです。何でもデジタルで学習という考えでなく、ノートに実際に書いて学習するアナログな手段も有効に使うと、学習の定着が図れることを示唆しているとも言えます。
- ⑨⑩…読書習慣と家での蔵書数も、正答率との相関が認められます。やはり数十冊以上、本がある家庭環境が望ましいといえます。